

岡山県町村会会長賞

道の駅新聞

岡山県矢掛町・矢掛小6年

田尻 弥佑

道の駅「山陽道やかげ宿を 「やかげまるごと道の駅」に

2021年3月28日に矢掛町に道の駅「山陽道やかげ宿」ができた。道の駅は岡山県出身の企業デザイナー水戸岡鋭治さんが手がけている。水戸岡さんは他にも、片原線の「夢やすらぎ号」九州新幹線の「つばめ豪華列車」宴会列車などさまざまなデザインをしている。

道の駅の中には飲食や物産販売の店舗などはあえておらず、矢掛商店街がその役割を担う「やかげまるごと道の駅」というスタイルだ。デザインは、かつての宿場町の町並みに合わせて、黒を基調としている。二階には、矢掛町内の観光と物産の紹介するコーナー。一階には、スループと水戸岡さんの作品を紹介するコーナー。建物を一階とする広々としたデッキがある。休憩する椅子には、水戸岡さんがデザインした豪華宴会列車の座席と向じ生地が使われている。また、各場所に水戸岡さんが描いたホップアートが飾られ、色とりどりになっている。

水戸岡さんは「富岡野や大釜を迎えた本陣のように、山陽道やかげ宿も別の人々に親しまれる新たな本陣」でなければならぬと話している。

そして、2021年7月27日に来場者数が1万人を突破し、記念イベントが開催された。

これらも「やかげまるごと道の駅」の情報発信などの役割を果たし、商店街を観光地に変化した役を、一歩し、

2021年11月1日
矢掛小学校
6年
田尻 弥佑

道の駅を工夫し、商店街をにぎやかに

<1F>   <2F>

道の駅とは
地域の魅力を発信し、観光客の滞在を促すための施設である。地域の魅力を発信し、観光客の滞在を促すための施設である。

道の駅のみく
1. 休憩ができる
2. 地域の特産品が買える
3. パワフルになれる
4. スクウェアが楽しめる

道の駅は、地域の魅力を発信し、観光客の滞在を促すための施設である。地域の魅力を発信し、観光客の滞在を促すための施設である。

道の駅は、地域の魅力を発信し、観光客の滞在を促すための施設である。地域の魅力を発信し、観光客の滞在を促すための施設である。